

職員による自己評価集計結果

公表：令和2年10月20日

事業所名：大府市発達支援センター みのり

この「職員による自己評価結果」は、みのりの正規職員（9名）が事業所の自己評価をしたものです。「はい」「いいえ」のどちらかを選択した結果と、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入があったものをまとめました。また、集計後に、職員間で結果を共有し、検討した改善内容を記載しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	9	0	
	2	職員の配置数は適切であるか。	5	4	【工夫している点】 ・調理員が休み等で代替職員対応が難しい日は、各自お弁当持参をお願いしている。 ・体制の難しい時は利用児の人数を調整している。 【課題や改善すべき点】 ・配置された人数では、安全性に欠けると思われる日がある。 ●改善内容⇒安全を確保できるような体制を検討していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	9	0	【工夫している点】 ・児童の目に入る情報が多くなり過ぎないように、掲示物や物の保管場所については注意している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	【工夫している点】 ・活動によって部屋を使い分けることで、適切な広さや集中が保てるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	【課題や改善すべき点】 ・療育では行っているが、業務全般で行っているとは言い難い。 ●改善内容⇒今後は、職員会議の中で、業務全般でのPDCAサイクルを行っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	9	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	9	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7	《補足》…第三者評価とは、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行うもので、みのりでは今の段階では、行っていない。これに関して、職員の認識不足がある。 【課題や改善すべき点】 ・今後、第三者評価を行うのかどうか不明確である。 ●改善内容⇒今年度、法人内の他事業所が第三者評価を行うので参考にし、みのり開所から4年を経過時点で実施を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	9	0	《補足》…今年度は、コロナ感染予防のため外部研修は減少したものの、法人内や事業所内の研修は実施している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9	0	

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	3	<p>《補足》…アセスメントツールについて、生活状況票とするのか、発達検査とするのかで、職員間に認識の違いがあったため、今後、統一化する。</p> <p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのり独自のアセスメント票(生活状況票)であり、標準化されたものとは言い難い。 ・ヴァインランド(適応行動尺度)等のアセスメントツールを実施できる職員が不在である。 ・保育と訓練が別々のアセスメント票(生活状況票)を使用しているため、保護者に負担をかけているので、来年度は1枚にまとめたはどうか。 <p>●改善内容⇒今後、この項目の『アセスメントツール』は、発達検査で統一することにした。</p> <p>●改善内容⇒みのりには、標準化されたアセスメントツール(新版K式・遠城寺式・S-S法)があり、検査ができることを職員に対して周知徹底した。</p> <p>●改善内容⇒保育と療育のアセスメントシートを1枚にまとめた『生活状況票』にする。</p>
	12	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な	9	0	
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	9	0	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせで、当日の利用児の目標を確認している。
	14	主活動の立案をチームで行っているか	9	0	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士が立案したものを、職員会議で共有している。
	15	主活動が固定化しないよう工夫しているか。	9	0	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回の活動では参加できない子どももいるので、同じ活動が続くことがあるが、少しずつ変えながら行っている。
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか。	8	1	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は個別、集団それぞれにあるものの、訓練(個別)を行う療法士とも意見交換しながら作成している。 <p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画(療育)には、個別(訓練)についてまで記していない。 <p>●改善内容⇒個別支援計画には、訓練(個別)と療育(集団)がある。療育の個別支援計画は、訓練内容を記載してはいるが、訓練士と連携した内容を記載し作成しているため、項目の「適宜組み合わせる」をそれに該当するものとしていく。</p>
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	9	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、共通の記録様式に個人で先に書き込みを行うことで、時間の使い方を改善した。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	9	0	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	9	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	9	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	5	4	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合、できる範囲で病院の受診同動を行い、医師等の話を直接聞いている。また、病院等の訓練士から直接指導を受ける場合もある。 <p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な時のみで連携としては十分ではない。 <p>●改善内容⇒必要なときは連携を取っている。みのりとしては現時点で、必要な時のみで対応できている。(来年度より項目に「必要なとき」と入れていく。)</p>

関係機関や保護者との連携

24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	8	1	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接ではないが、保護者を通して対応・体制を整えている。 <p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要と判断された子どものみ連携を取っている。 <p>●改善内容⇒必要なときは連携を取っている。みのりとしては現時点で、必要なときのみで対応できている。(来年度より項目に「必要なとき」と入れていく。)</p>
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	<p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移行先の支援内容を知り、移行のために必要な力や子どもの現状の共有を普段から行っておくことが必要と思われる。 <p>●改善内容⇒年度始めで提出される『生活状況票』の進路希望欄で希望進路先を把握し、見学を行う。また、希望進路先にもみのりでの子どもの様子の見学を呼びかけ、相互理解につなげていく。</p>
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	<p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移行先の支援内容を知り、移行のために必要な力や子どもの現状の共有を普段から行っておくことが必要と思われる。 <p>●改善内容⇒年度始めで提出される『生活状況票』の進路希望欄で希望進路先を把握し、見学を行う。また、希望進路先にもみのりでの子どもの様子の見学を呼びかけ、相互理解につなげていく。</p>
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	9	0	<p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頻繁には行っていないため、増えたい。 <p>●改善内容⇒来年度から、みのりの職員で行っている勉強会にて、他事業所の見学を計画的に実施するなどし、連携につなげるようにする。</p>
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	4	5	<p>《補足》…地域交流(若宮保育園、石が瀬と吉田児童老人福祉センター、愛厚ホーム大府苑、大府福祉会の他の事業所等)は行っているものの、今年度はコロナ感染予防で実施できなかったため、『いいえ』の回答が出された。</p>
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	1	<p>《補足》…大府市自立支援協議会の発達支援部会や地区の連絡会議に管理者が出席しているが、職員の認識不足があった。今後、会議内容の伝達を徹底していく。</p>
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	<p>【工夫している点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には連絡ノートを使用しているが、親子療育のため、活動中にも積極的に声かけを行うなど、必要なことは適宜お伝えしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を目的とした研修等の支援を行っているか。	6	3	<p>《補足》…今年度の救急救命の研修は延期になっている。</p> <p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な状態の子どもが利用しており、子どもの状況により違いも大きく、個人情報でもあるため、実施については迷うところもある。比較的共通するニーズは「就園・就学」「将来のこと」や「利用できる制度」と思われるので、これらに応えられる研修を行っていきたい。 ・1年に1回では機会が少なく、保護者のニーズを取り入れた様々な研修が行えていない。 <p>●改善内容⇒職員間での周知がされていなかったが、今年度は2回行う予定。内容は(延期になっている)「救命救急」と保護者のニーズの多い「将来のこと」または「利用できる制度」についての予定である。</p>
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	8	1	<p>【課題や改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに記載されているねらいと支援についての説明は不足していると思われる。 <p>●改善内容⇒入園前の面談で、個別支援計画の説明についてガイドラインから抜粋するなどして丁寧に説明していく。</p>

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	2	【工夫している点】 ・保護者から相談を受けた場合や必要な場合は時間を取るようにしている。 ・臨床心理士が心理相談を行っている。 【課題や改善すべき点】 ・定期的に相談を受ける機会を設けていない。 ●改善内容⇒正規職員は定期的に相談を受ける機会を設けてないが、非常勤職員が心理相談を行っている。また、4ヶ月毎の個別支援計画の個別面談(正規職員)の中でも相談を受けるようにしているので、今後、保護者に周知していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	【課題や改善すべき点】 ・迅速には対応できていない時がある。 ●改善内容⇒迅速に対応できない場合もあるので、そのときは、保護者に向けて経過報告などを説明するメールを送信していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	【工夫している点】 ・保護者から話を聞く時は、内容によって相談室などを使用し、情報が漏れないようにしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	【工夫している点】 ・必要な子どもには、写真カードや絵カード、手話を使用している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	【課題や改善すべき点】 ・考えているものの、実施できていない。 ●改善内容⇒企画していたが、コロナ感染症を考慮し、中止とした。今後も、企画・実施していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応や感染症対応について、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	【課題や改善すべき点】 ・訓練としては実施できていない。 ・コロナ感染の対応について、職員間では周知していたが、保護者全体への説明に不十分なところがあった。 ●改善内容⇒緊急時対応については、今後、職員のみで緊急搬送やアナフィラキシーの訓練を定期的に行う。また、応急処置については家族向けの研修で行う「救命救急」に職員も参加する。 感染症対応についても、今後、職員のみで吐物処理の訓練を定期的に行う。以上のことを、みのりっこLINEなどを通じて保護者に周知を図る。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか。また、不審者を想定した訓練が実施されているか。	9	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	
	45	ヒヤリハットを記録・ファイリングして事業所内で共有しているか。	9	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	4	【課題や改善すべき点】 ・職員会議において倫理綱領を使用し話し合いは行ったが、外部からの講師を呼んだり、法人内研修は実施されていない。 ・定期的に虐待防止について話し合う機会を作ったほうが良い。 ●改善内容⇒法人の虐待防止マニュアルを活用し、年間スケジュールを立て実施し、対応していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	9	0	

以上です。